



# 望洋台小だより



学校 HP

R6. 11. 28 No.8

(通算 574 号)

<学校の教育目標>

- 自ら考え工夫する子
- 思いやりのある優しい子
- 進んで行動しやりぬく子
- 明るく健康な子
- 協力し働く子

## 子ども達をネットの被害から守るために・・・

校長 脇本 麻友美

今年も師走の声を聞く頃となりました。これからの季節、寒さも一段と厳しくなり、積雪のため道路も滑りやすくなってきます。子ども達はというと、「寒いな～」と言いながらも、どこか雪が降るのを楽しんでいる様子もうかがえます。いよいよ冬本番！雪国ならではの遊びやスポーツを楽しむと共に、冬型の事故（雪道での交通安全や屋根からの落雪など）に十分気をつけて過ごしてほしいと思います。

さて、学校では子ども達の主体的な学びに欠かせないアイテムとして、授業において日常的に chromebook を活用すると共に、毎日の家庭へ持ち帰りを行っております。子ども達には、丁寧に使うことやネットにつなげる時の約束（「chromebook の約束」をご参照ください。）など、日常的に指導をしております。



また、ネット検索などで心配な内容が検索された場合は、誰の端末からどんな内容が検索されたかについて教育委員会から学校へ連絡が入るような仕組みとなっております。学校・教育委員会では、「与える大人の責任」として、子ども達が正しく安全に使っていただけるような仕組み作りと指導に努めているところです。

各ご家庭でも、スマートフォンや通信機器付きのゲーム機などを日常的に使っているお子さんが増えてきていることと思います。近年、SNS に起因する事犯の被害児童は急増しています。また、SNS 上で書いた何気ない一言が「いじめ」につながるという危険性も含んでいます。一見、SNS は仲間うちの小さなコミュニティのように見えますが、実は世界に向けて開かれています。しかし、小学生の子ども達は、まだそのことを実感として捉えにくいのではないかと思います。

人を傷つけるような言葉（誹謗中傷）や許可なく友だちなどの動画や写真をネット上に投稿することは、法に触れる可能性もある行為です。子ども達を被害者にも加害者にもしないためにも、小学生の成長段階では保護者の監視下で適切な使い方を学ぶ必要があると考えます。保護者の皆様には、お子さんが利用している SNS を把握し、危険な兆候がないかを、いつも見守っていただければと思います。そして、お子さんに SNS の危険性を具体的に知らせると共に、「おたるスマート7」などを参考に、使い方についての約束をご確認いただけますようお願い致します。「気づいたときには、取り返しが付かないことになっていた」そんなことが起きないように、学校と家庭、周りの大人たちみんなが、子ども達の安全を守っていきましょう。

2学期も残すところ約3週間となりました。楽しい冬休みを迎えられるように、2学期のまとめをしっかりと行い、充実した毎日を送れるように努めてまいります。保護者・地域の皆様の変わらぬご支援ご協力をお願い致します。



# 実践発表会がありました

11月18日（月）に実践発表会がありました。望洋台小学校で行っている授業研究について、多くの先生方に参観していただいたり、協議をしたりして本校の研究をより充実させていくものです。

当日は、後志教育局義務教育指導班主査の新栄様、小樽市教育委員会指導グループ主査の永澤様、小樽市教育委員会教育研究所員の井村様をお招きし、全学級の授業についてご指導・ご助言をいただきました。

子どもたちに着実に資質・能力を身に付けさせるために端末を効果的に活用することの重要性について詳しく学びました。今後も日々の授業改善について進めていきます。



## 「いかのおすし」を守って！

先日、テトルにてお知らせした通り、今月に入り、小樽市内で不審者情報が相次いでいます。学校でも子どもたちに「いかのおすし」など、不審者に遭遇した際の身の守り方について指導しているところです。ご家庭におかれましても、お子様に対して日常的な注意喚起をぜひお願いいたします。

「いか」知らない人についていかない 「の」知らない人の車にのらない  
「お」大声を出す 「す」すぐ逃げる 「し」家の人に知らせる



## 「滑りやすくなります」ので、ご注意を!

先週、今年初めてまとまった雪が降りました。これから本格的な冬の到来を迎え、雪や氷で道路は滑りやすくなります。登下校の際には、「不用意に走って転倒してけがをする」「道路への飛び出しによる事故」など、これまで以上に交通安全に気を付けるよう、ご家庭でも注意喚起をお願いいたします。

## 生活リズムチェックシートの結果から

以前、行った「生活リズムチェック」の結果が出ましたので、お知らせ致します。

【低学年】ゲーム・スマホを見る時間が30分～2時間の子が多く、4時間より多い子もいる。

【中学年】家庭での学習時間が30分より少ない子が20%以上いる。ゲーム・スマホ等を1時間以上行っている子が多かった。

【高学年】家庭学習に70分以上取り組んでいる子もいるが、多くは40分間未満となっている。ゲーム・スマホ等を行う時間が3時間以上の子が多い。

全校的にみると、ゲームやスマホ等を行う時間が長く、家庭学習時間が短くなっており、また、高学年になるにつれ、夜遅くまで起きているお子さんが増える傾向にあります。学校でも放課後の時間の使い方などについて引き続き指導して参りますので、ご家庭でも「早寝・早起き」など、お子さんに規則正しい生活リズムが身に付きますよう、ご協力をお願い致します。

